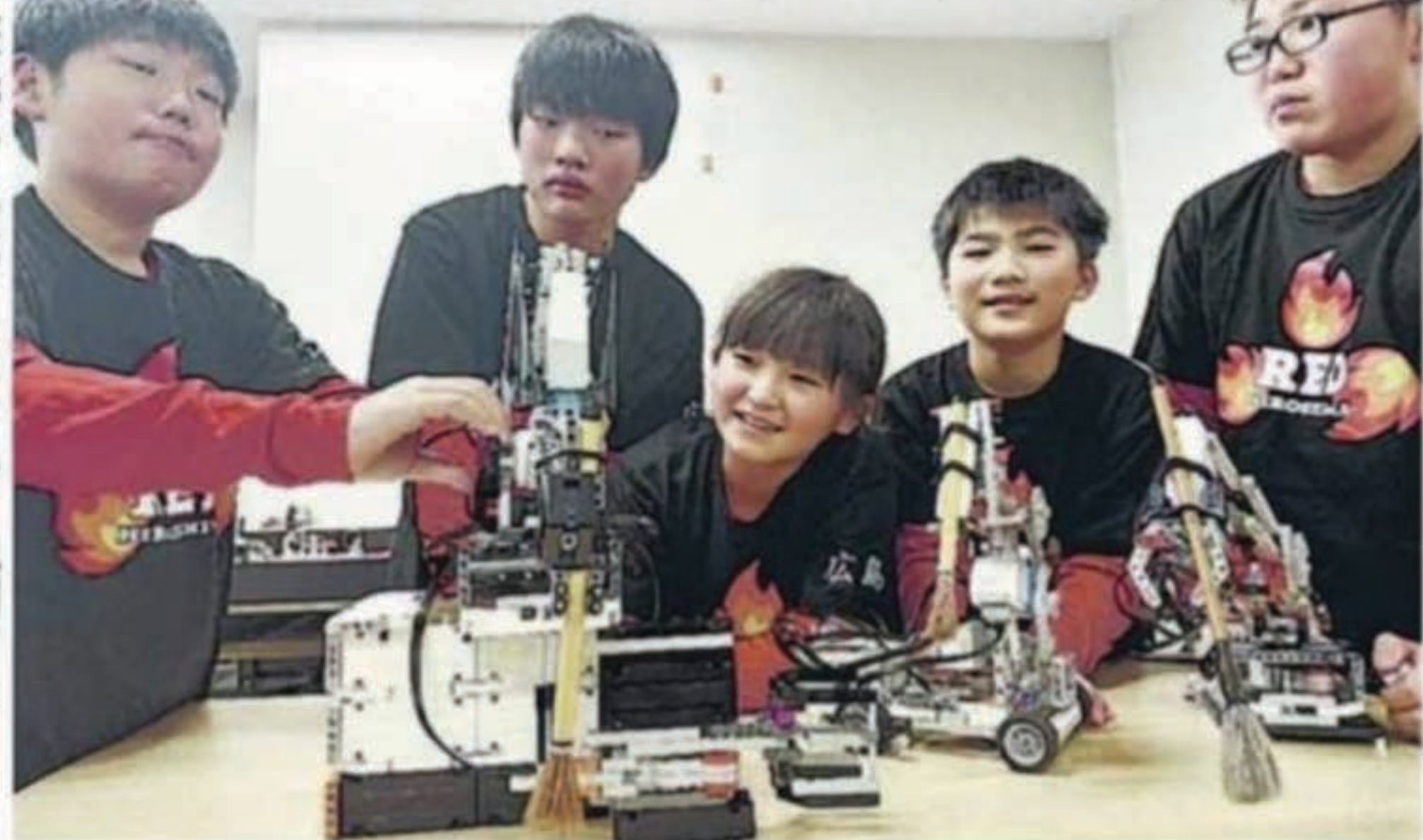


筆洗いロボットについて説明するメンバー



ロボット競技 目指すは世界

広島の小中学生 国内予選控え猛練習

ロボット競技に取り組む広島市の小中学生チーム「RED（レッド）広島」が、米国で来春開かれる世界大会への出場を目指し、準備に打ち込んでいる。10日、福岡県である国内予選が第一関門になる。

メンバーは小学4年～中学1年の5人。いずれも中区のプログラミング教室Kicks×Crefus（キックスクレファス）広島校に通う。今回は、筆を付けたアームを回転させ墨を洗い落とす「筆洗いロボット」などを

製作した。予選を控えた3日も、同校でロボットの動作確認やプレゼンテーションの練習を重ねた。

福岡の予選には12チームが出場し、上位4チームが全国大会へ進む。その先に、米国のNPO法人などが主催する世界大会がある。メンバーの広島なぎさ中1年、荒木陽向さん（12）は「まずは福岡を勝ち抜く。世界大会で書道の魅力も広めたい」と意気込んでいる。

（重田晴香）